やすらぎ通信

第 91 号（平成 30 年 6 月 1 日）　発行：大阪急性期・総合医療センター

水無月（みなづき）

（奈良県橿原市　本薬師寺跡のハスとバッタ）

＜目次＞

以心伝心～リレーエッセー～　・・・P. 1
今月・来月の催し　・・・P. 2
管理栄養士のコーナー　・・・P. 5
今月のほっとさん　・・・P. 6
ＮＥＷＳ　・・・P. 7
掲示板　・・・P. 7
地域の医療機関の皆様へ　・・・P. 9
今月の風景　・・・P. 10
編集後記　・・・P. 10

以心伝心～リレーエッセー～

ある朝、執務室に向かう途中、胡蝶蘭が目に留まりました。なぜこのような場所に胡蝶蘭が置いてあるのかと思いを巡らすうち、4月の新棟（南館）オープン時に、お世話になった関係先から記念に贈呈され、1階の玄関付近に飾ってあったことを思い出しました。

南館については、オープンから2ケ月余り経ち、日増しに地域の方々及び医療機関の皆さんにご認識いただいてきているようですが、PR を兼ねて、改めて紹介させていただきたいと思います。

南館は、当センターの南側に、これまで以上に充実した小児・周産期医療の提供や、高度救命救急センターとして内視鏡センターや手術室等を拡充するため、大阪府と大阪市とで共同設置されました。正式名称は「大阪府市共同 住吉母子医療センター」です。

1階は、産科・婦人科や小児科・小児外科の外来で、公的病院として重要な役割を果たすため、未受診や最重症合併症のハイリスク妊産婦の受け入れを行うとともに、脳神経外科と連携し、水頭症などの胎児の中枢神経異常について、診断から新生児治療までの一貫管理を行っています。また、新たに胎児心臓エコー外来を開始する予定となっています。

2階は、外来化学療法室と内視鏡室を配置しています。外来化学療法室では、抗がん剤治療はもとより、関節リウマチやクローン病の自己免疫疾患に対し生物学的製剤療法を行い、難病医療患者の方への適切な医療を提供しています。内視鏡センターは、以前の内視鏡室4室・回復スペースにベッド8台の運用から、内視鏡室8室・回復スペースにベッド22台と規模を拡充し、より多くの検査を迅速に行うことが可能になりました。また、小児科医による小児内視鏡も積極的に行っています。

3階は、手術待ちの患者数の増加及び、今後予想される小児科、産科領域の手術件数の増加にも対応するため、手術室の追加整備を行いました。こちらでは主に、帝王切開を施術するほか、ハイブリット手術室を整備し、心臓や脳と血管内治療と外科的手術を同時に行うことができます。

4階は、産科病棟のほか、LDR（陣痛分娩室）や MFICU（母体胎児集中治療管理室）、NICU（新生児集中治療管理室）、GCU（新生児回復室）を設置しています。病室は、患者さんのアメニティー向上を図るため、従来よりも広い空間を確保し、4床室を含め各室にはトイレを、個室全室にはユニットシャワーを設置しました。また、妊婦の方の負担軽減のため LDR を3室新設するとともに、ハイリスク出産の危険度が高い母体・胎児の対応のため、MFICU6 床を新設しました。さらに、新生児医療充実のため、NICU を6床から9床に、GCU を6床から12床に増床しました。

5階は、小児科病棟を開設しています。各病室は、4階の病棟と同様の患者さんのアメニティーの改善を行っています。また、重症小児患者さんへの対応を強化するため、HCU（高度治療室）を8床新設しました。

胡蝶蘭には、「幸せが飛んでくる」という花言葉があるそうです。贈り主の方は、「南館から幸せが飛んでくる」ように、との思いを込めて胡蝶蘭を贈呈してくださったのだと思います。このことは、地域の住民の方々や医療機関の皆さんとともに歩むこと、すなわち、地域に頼りにされ愛される病院となることに他ならない、と胡蝶蘭を見て改めて感じました。

（ 事務局　中芝　広輝 ）

今月・来月の催し

【第 28 回病院ギャラリー企画展　『関西の作家による版画コレクション展』】

開催期間　6 月 18 日（月）～9 月 14 日（金）
展示場所　本館 2 階　病院ギャラリー
展示作品　24 作品（予定）

本企画展は、大阪府立江之子島文化芸術創造センターのご協力を得て実施しています。なお、6 月 20 日（水）午後 1 時 30 分から学芸員による作品説明会（約 20 分）を病院ギャラリーで開催（参加費無料）しますので、ご参加ください。

また、第 27 回病院ギャラリー企画展『須田剋太「街道をゆく」挿絵原画展　第 2 弾～モンゴル紀行編～』は 6 月 15 日（金）までとなっています。

【第 54 回　万代・夢寄席「旭堂小南陵　初夏の講談会」】

日　時　　6 月 5 日（火）　午後 2 時～3 時
場　所　　本館 3 階　講堂
出　演　　旭堂　小南陵　氏
入場料　　無料

【府民公開講座「脳卒中のリハビリテーション」】

日　時　　6 月 9 日（土）　午後 1 時 30 分～3 時（午後 1 時開場）
場　所　　本館 3 階　講堂
講　師　　リハビリテーション科主任部長　辻野　精一
参加費　　無料

【すこやかセミナー
「１．骨そしょう症治療の最前線～骨折を繰り返さないことが大切～」
「２．どうやって治す？膝と足の痛み」】

日　時　　6 月 14 日（木）　午後 2 時～3 時
場　所　　本館 3 階　講堂
講　師　　整形外科部長　　藤原　達司
　　整形外科副部長　野村　幸嗣
参加費　　無料

【相愛大学連携　第 82 回　外来糖尿病教室　知って得する！糖尿病との付き合い方】

日　時　　6 月 20 日（水）　午後 2 時～3 時
場　所　　本館 1 階　アトリウム
内　容　　まずは糖尿病のことを知りましょう
　　～平成 28 年国民健康・栄養調査結果の概要から～
　　糖尿病内分泌内科診療主任　藤田　洋平
　　糖尿病の運動療法　　理学療法士　安田　晴彦
　　“オフ”にだまされていませんか　　管理栄養士　笠井　香織
参加費　　無料

【すこやかセミナー「検査でわかる糖尿病」】

日　時　　6 月 22 日（金）　午前 11 時～12 時
場　所　　本館 3 階　講堂
講　師　　臨床検査技師　田路　夕海
参加費　　無料

【第 61 回　相愛大学連携コンサート（ピアノとヴァイオリンのデュオ）】

日　時　　6 月 27 日（水）　午後 2 時～3 時
場　所　　本館 3 階　講堂
出　演　　西川　ひかり 氏（ピアノ）、山縣　朋佳 氏（ヴァイオリン）
曲　目　　クライスラー／愛の喜び　　愛の悲しみ　　美しきロスマリン
　　マスネ／タイスの瞑想曲
入場料　　無料　　※プログラムは変更になる可能性があります。

【すこやかセミナー「知ってますか？乳がんのこと～今押さえておきたい乳がんの知識～」】

日　時　　7 月 12 日（木）　午後 2 時～3 時
場　所　　本館 3 階　講堂
講　師　　乳腺外科診療主任　田渕 由希子
参加費　　無料

【相愛大学連携　第 83 回　外来糖尿病教室知って得する！糖尿病との付き合い方】

日　時　　7 月 17 日（火）　午後 2 時～3 時
場　所　　本館 1 階　アトリウム
内　容　　糖尿病合併症　しめじについて
　　糖尿病内分泌内科診療主任　清水　彩洋子
　　飲み薬のキホン　　薬剤師　森井　絵莉香
　　夏バテ・夏太り対策　　管理栄養士　隈元　理香
参加費　　無料

【第 55 回　万代・夢寄席「豊来家玉之助　夏の太神楽」】

日　時　　7 月 18 日（水）　午後 2 時～3 時
場　所　　本館 3 階　講堂
出　演　　豊来家　玉之助 氏
入場料　　無料

【すこやかセミナー「免疫力ＵＰ！ 笑顔で長生き！（仮）」】

日　時　　7 月 27 日（金）　午前 11 時～12 時
場　所　　本館 3 階　講堂
講　師　　看護師　吉田　有希
参加費　　無料

【第 56 回　万代・夢寄席「桂春団治一門会」】

日　時　　7 月 31 日（火）　午後 2 時～3 時
場　所　　本館 3 階　講堂
出　演　　桂　福楽 氏、桂　福丸 氏
入場料　　無料

【作品展（コスモス会）の開催と作品の募集について】

今年も当センターとコスモス会の共催による作品展を 10 月 29 日から 31 日の間、本館 3 階講堂で開催する予定です。つきましては、出展作品を下記のとおり募集いたしますので、皆さん奮ってご応募ください。

応募資格　　患者さんとその家族、及び病院関係者
応募方法　　出展ご希望の方は、当センター総務・人事グループへお問い合わせください。（連絡先：06-6692-1201　内線 2313）
応募作品例　　絵画、写真、書道、手芸ほか
作品受付日　　10 月 29 日（月）午前 9 時～10 時
作品返却日　　10 月 31 日（水）午後 4 時～5 時

管理栄養士のコーナー

～ちょっとおいしい話～

じめじめした季節になってきました。今回は日本各所の郷土料理でも知られる「冷や汁」をご紹介します。さば水煮缶を汁ごと用いるのでだしもいらず、簡単に作ることができます。

《材料》		（1 人分）	（4 人分）
さば水煮缶		1/4　缶	1　缶
きゅうり		1/4　本	1　本
みょうが		1/4　個	1　個
大葉		2　枚	8　枚
すりごま		大さじ 1/4　杯	大さじ 1　杯
★	味噌	大さじ 1/4　杯	大さじ 1　杯
★	水	50～75　cc	200～300　cc

（1 人分）エネルギー：103kcal　たんぱく質：9.5g　脂質：6.4g

食塩相当量：約 1.1g

① きゅうりは薄い輪切りに、みょうがと大葉は細い千切りにする。
② 味噌と水を合わせ、★を作っておく。
③ ボウルにさば水煮缶を汁ごと入れ、①とよく混ぜ合わせる。
④ を加えてさらに混ぜ、すりごまを加える。
⑤ 冷蔵庫でしばらく冷やして完成。

豆腐をつぶして入れてみたり、マヨネーズを入れてコクを出してみたり、いろいろなアレンジも可能です。

管理栄養士　森本　都

今月のほっとさん

平成 30 年４月より、医療技術部がこのコーナーを受け持つことになりました。医療技術部は多くの職種から成り立ち、病院の医療を縁の下で支える役割を担っています。そんな私たちの熱くて優しいなごみの気持ちをお伝えするため、コーナー名を「今月のほっとさん」と名づけました。日頃は地味な私たちですが、色々な“ほっと”を患者さんやご家族、そして医療現場の仲間たちにお届けしたいと思います。

放射線部門　技師長　樫山さん

平成 30 年 4 月 1 日より診療放射線技師長になりました樫山と申します。診療放射線技師が所属している放射線部門は、各診療科から依頼を受け、画像検査・核医学検査・放射線治療の分野で最新の医療機器を用い、専門知識と技術を駆使して診療支援を担う部門です。また、センター内のすべての放射線業務に関わるため、「被ばく管理」や「放射線機器管理」も行っています。

放射線部門における業務内容は、単純 X 線撮影検査（レントゲン）・乳房 X 線撮影検査（マンモグラフィ）・骨塩定量検査・X 線 TV 検査・X 線 CT 検査・血管造影検査・IVR・MRI 検査・核医学検査・放射線治療など様々な検査や治療を行っています。各種の画像診断検査については下記の画像診断科ホームページをご参照ください。

「医療の質の向上」を目指してきた当センターでの取り組みの一つとして、大阪急性期・総合医療センターの敷地南側の「大阪府市共同 住吉母子医療センター」内に手術室を拡充し、Hybrid OR（ハイブリッド手術室）が整備されました。Hybrid OR とは、高性能の据え置き型 X 線血管造影装置と手術用寝台を組み合わせた手術室で、血管内治療術および外科手術の双方の対応が可能な専用設備機能を有した設計になっている手術室のことです。血管内治療と外科手術を併せた治療法や、複数の専門家が協力して実施する治療法等の最先端のハイブリッド手術にも対応でき、今後その発展が大きく期待されています。

※画像診断科ホームページ　http://www.gh.opho.jp/org/gashin/top.html

医療技術の進歩は目覚ましく、中でも医学の研究や臨床診断、治療あるいは検査に使用される医用画像機器や放射線機器・システムの発展には著しいものがあります。その中で私達、診療放射線技師の役割も多岐にわたり、各診療科や患者さんの多種多様なニーズに対応できるように、技術や知識の向上が求められております。放射線科診断専門医・放射線治療専門医や看護師と常に連携を取りながら、安心・安全な医療を提供すべくスタッフ一同で取り組んでいきたいと思います。

ＮＥＷＳ

【身体障がい者補助犬の受け入れにご理解・ご協力をお願いします！！】

当センターでは、身体障害者補助犬法を踏まえ、身体障がい者補助犬（補助犬）のユーザーやユーザー以外の患者さんが安心して診察等を受けていただけるよう、平成 30 年 4 月 1 日から、下記の入室制限区域以外の区域について補助犬の入室が可能な区域として定めました。来院者の皆さんにおかれては、ご理解のほど、お願いします。

【入室制限区域】
手術室、救急診療科、ＩＣＵ・ＣＣＵ・ＳＣＵ、画像診断科、放射線治療科、薬局、病棟（談話室、食堂及びトイレを除く）

掲示板

【ボランティア活動のお知らせ】

当センターでは、「採血室受付」や「入院時の病棟への案内」を中心に、毎日ボランティアが活動しています。また、看護学生や保育学生による話し相手や遊び相手のボランティアや、リハビリ病棟の長期入院患者さんを対象に、ハンドマッサージ（大阪府鍼灸マッサージ師会の協力）や理髪ボランティア（近隣理髪店の協力）、ピアサポート（年 3 回）を実施しています。1 月 30 日には、認定 NPO 法人日本クリニクラウン協会から、小児科病棟にクリニクラウンの訪問を受けました。

これらの活動状況は、当センターホームページで紹介していますので、是非ご覧ください。また、ボランティアを随時募集していますので、お問い合わせください。

（URL）http://www.gh.opho.jp/recruit/10.html

【「医療相談」コールセンターのご利用を　～地域医療連携センター～】

患者さんやご家族などからの医療や病院利用に関するご相談に、看護師が電話で応じさせていただく「医療相談」コールセンターを開設運用しております。是非お気軽にご利用ください。

電話番号	０６－６６９２－２８００	（専用電話回線）
	０６－６６９２－２８０１	（専用電話回線）
相談日時	月曜日～金曜日　午前 9 時～午後 5 時	
	（年末年始、土・日・祝日除く）	
相談対象	医療相談を希望されるご本人若しくはご家族等	
相 談 員	看護師	

【診察予約変更センター　9 診療科において
診察の予約日・時間の変更を電話で受け付けています！】

当センターでは、下記の 9 診療科を対象に、電話で診察時間の予約の変更ができるよう「診察予約変更センター」を設置しています。是非積極的にご活用ください。なお、このサービスは初診に関しては行っておりませんので、ご注意いただきますようお願いします。

電話番号　　０６－６６９２－１２０１(代表)にダイヤルして
「予約変更センター」と言ってください。
受付時間　　午後 3 時～午後 5 時(平日のみ)
対象診療科　　呼吸器内科　消化器内科　糖尿病内分泌内科
皮膚科　形成外科　腎臓・高血圧内科　神経内科
脳神経外科　耳鼻咽喉・頭頸部外科

【入院治療費や外来での検査費用の概算を予めお知らせするサービスをしています】

当センターでは、入退院センターにおきまして、ご入院申し込み時に予め標準的な治療を行った場合の概算費用、医療・福祉相談コーナーなどで CT、MRI、RI、エコー検査など検査の概算費用をお知らせするサービスを行っています。

【医療費の支払いはキャッシュカードでできます！】

当センターの医療費自動精算機は、デビットカード対応となっておりますので、ほとんどの金融機関のキャッシュカードでお支払いができます。引き落としの手数料は不要ですので大変便利です。是非ご利用ください。

なお、一般のクレジットカードでのお支払いもできます。

【Facebook ページ開設のお知らせ】

当センターでは、公式 Facebook ページを開設しております。Facebook のアカウントをお持ちでない方でも、ご覧いただけます。

(URL) https://www.facebook.com/osakageneralmedicalcenter

※スマートフォンでご覧になる場合は、右の QR コードをご利用ください。

【やすらぎ通信はメルマガで！】

「やすらぎ通信」はメルマガでも配信しております。ご希望の方は、当センターホームページの「メールマガジン申込」からアドレスを登録していただきますようお願いします。なお、ホームページの検索は、「大阪急性期・総合医療センター」にて可能です。

地域の医療機関の皆様へ

免疫リウマチ科からのお知らせ

関節リウマチを含めた膠原病と気管支喘息を中心とする成人アレルギー疾患に関して、専門的な立場から、そして全診療科の揃った総合医療センターの特徴を生かした診療を行っています。

緊急入院を含めて、患者さんのご紹介をよろしくお願い申し上げます。

関節リウマチ

バイオサポートセンター

高度かつ安全・安心な最新の関節リウマチ治療の実践

野村幸嗣医師：2017.9～

整形外科医かつリウマチ学会専門医が免疫リウマチ科外来も担当

膠原病

新規分子標的治療薬や抗マラリア薬：一部の膠原病に保険適応となり、治療は進歩

全診療科の揃った総合医療センター

全臓器合併症、妊娠合併にも対処

リウマチ母性内科外来

大阪府市共同 住吉母子医療センターがオープン（当センター内）：2018.4

妊娠前・妊娠中・授乳中の期間：安心して妊娠・出産と関節リウマチの療養を両立できるように産科と連携

気管支喘息

最新のIL-5阻害薬を含めた治療で難治例にも対処

高度救命救急センター、ER、呼吸器内科、ICUと連携

最重症に対処できる発作入院加療

免疫リウマチ科　主任部長　藤原　弘士

今月の風景

【コメント】

旧国鉄時代の廃線（現 JR 西日本福知山線生瀬～武田尾近く）を歩くことができます。渓谷を横目に軌道の名残りの枕木の上を歩き、真っ暗なトンネルの中を少しドキドキしながら通り抜ける約 6 キロの道のりは、子どもから大人まで楽しめます。

＜匿名希望「武庫川廃線跡」撮影地：兵庫県宝塚市＞

編集後記

今月の表紙は、橘　良政 氏よりご投稿いただきました、本薬師寺跡のハスとバッタの写真です。蓮の花は、早朝から開きはじめ、昼頃には閉じてしまうそうです。「泥中の蓮」のことわざもあり、清らかな印象を受ける花です。早朝に開花する瞬間を、ぜひ見てみたいと思います。

＜お願い＞

読者の皆様からも、今後の表紙と「今月の風景」を飾る写真の投稿をお待ちしております。ご投稿いただける方は下記宛先までお送りください。

【宛先】kyuseisogo@opho.jp

【注意事項】

・投稿写真はご自分で撮影したオリジナルの作品に限ります。
・タイトル、撮影日時、場所についてのコメントをメール本文に記載ください。
・作品は著作権、肖像権を侵害するおそれのないものに限ります。

当センターは、当センターが「希望の医療空間」「よろこびの医療空間」「やすらぎの医療空間」となるよう日々努力しています。